

ウイルス性の肝がん・重度肝硬変患者への支援と B型肝炎ウイルスを排除する薬剤の開発を求める

請 願 書

請願団体 日本肝臓病患者団体協議会
〒161-0033 東京都新宿区下落合4-27-5-201
電話 (03) 5982-3159 FAX (03) 5982-2151

請願人氏名
請願人住所
紹介議員

(印)

請願項目と請願の理由

1. ウイルス性の肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の実態に鑑み、日々苦しんでいるウイルス性の肝がん・重度肝硬変患者への一層の救済を検討してください

私達患者団体が長年要望してきた「ウイルス性の肝がん・重度肝硬変患者の医療費助成」が平成 30 年 12 月から治療研究促進事業として開始されました。令和 3 年と令和 6 年 2 回にわたり制度が改正されたものの、国が推計した助成見込み数よりも実績数が大幅に少ない状態が続いており、まだ十分ではありません。令和3年度から令和4年度にかけて兵庫県で行われた調査では、本研究事業の対象患者は治療を受けた患者の13%に留まるという調査結果も出ています。（肝臓 65 巻 12 号 575-580 (2024)「兵庫県における肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業に関する実態調査」）

制度開始から7年以上が経過しますが、患者の多くが救済の対象となっておりません。この実態を勘案し、研究事業の充実による患者の一層の救済を検討してください。

2. B型肝炎ウイルスを排除する薬剤の開発と実用化を一層促進してください

世界中の様々な研究機関や企業がB型肝炎ウイルスを排除する創薬に向けて研究を推進していますが、未だ実現していません。核酸アナログ製剤によりB型肝炎ウイルスの増殖は抑えられ、病状は安定しましたが、生涯飲み続けなければならない負担とウイルスが消えないことによる発がんへの不安を抱え続ける毎日、精神的に大きな重荷となっています。

世界中のB型肝炎患者がB型肝炎ウイルスを排除する薬剤の早期開発を待ち望んでいます。B型肝炎の機能的治癒をめざす薬剤とウイルスを排除する薬剤の開発と実用化を促進して、安心して暮らせるようにしてください。

以上から、私達は以下の請願を致します。

募金

- ◆住所は、都道府県名は不要ですが「同」「〃」などで省略せず、区市町名から所、番地まで正確に記載して下さい。

[illegible]